

山 行 報 告 書

山行報告者：北 田

山 域・山 名： 大ドッケ～七跳山(1,651m)～矢岳(1,357m) (埼玉県秩父市)

入山日又は期間：令和2年11月20日(金)～11月21日(土) 1泊2日

プラン担当者 正：北田

参加者 L：北田 報：北田  
男1名、女名、計1名

天候：  
両日とも曇りのち晴れ  
21日朝薄霧



11月20日(金) 6：30 浦山大日堂⇒7:30 61号鉄塔⇒8：30 尾根合流⇒9：30 大ドッケ⇒10：45 1,469P⇒11：20 太平山⇒12：30 七跳山⇒12：40 長沢背稜⇒13：30 西谷避難小屋

11月21日(土) 6：30 西谷避難小屋⇒6：50 矢岳分岐⇒7：50 1,568P⇒8：50 赤岩の頭⇒9：40 矢岳⇒11：30 1,044P⇒12：30 853.7P⇒14：15 武州中川駅

装備と食糧  
個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ツェルト、シュラフ、マット、調理用、ココヘリ、ナイフ  
個人食：食料(20日昼・夕、21日朝・昼)行動食、非常食

感想&注意事項  
「山と高原地図」でなぜか登山道のない大ドッケ。SNSを見ると福寿草の自生地。3月頃には訪れる人もいるみたいだが、人がいないであろうこの時期、読図練習を兼ねて復路は矢岳を歩いてきた。  
浦山大日堂をスタートして鉄塔までは管理道がある。それを過ぎると大量の枯葉で道が不明瞭に。所々テープがあるのだがとんでもない方向についていたりもする。GPSと地形図で確認しながらとにかく稜線を外さないよう登って行く。  
しばらく上ると大ドッケに到着、予想通りの眺望皆無で手書きの山標がある。その後もひたすら稜線をたどりなんとか長沢背稜へでて右折し西谷避難小屋へ。  
小屋の水場は水量が乏しく4ℓ貯めるのに1時間ほどかかってしまった。  
到着が早かったのでそのうちだれか来るだろうと思いながらウトウトしているといつの間にか次ページへ

夕方に。いつもながらの独りぼっち泊となった。

21日は薄霧のなかを出発、長沢背稜からの矢岳への分岐がわかりずらく、うっすらと獣道のような跡が付いているのみ。コンパスで方向を見ながら登って行きなんとか稜線へ乗ったが、所々に熊の糞があり熊鈴だけでは心もとなく、大声を出しながら歩いていく。

しばらく歩くと霧も晴れて日差しが出てきたが風が強く、稜線はアップダウンが激しく切り立った箇所も多いので緊張する。矢岳からは多少のアップダウンはあるものの下りだが、支稜線が多くなり何度か迷いながら進んでいく。最後の若獅子山はありえないような崖を緩んだトラロープで下り、ここが一番緊張したが、なんとかクリアし無事下山できた。

今回の山行では、今までにないくらいGPSと地形図を見ながら歩いた。

この時期は葉が落ちて多少見通しがきき地形を確認しやすいこと、また、登りではほかの稜線が近づいてくるのでわかりやすいが、下りでは逆に支稜線が広がっていくので道迷いが起こりやすいのを痛感し、とにかく狙った稜線を外さないようにするのが大事だと思った。